



NEWSLETTER

Council No.2 Japan Region

ITC : "Leading the way ..." 「先頭を切って」

日本リージョン : 「見上げて 共に進もう」 "Upwards and Onwards Together"



ITC 宣誓

我々、国際トレーニング・イン・コミュニケーションのメンバーは、世界中の相互理解促進のために、コミュニケーション技術と指導力の向上に努めることをここに誓います。

We, as members of International Training in Communication, hereby pledge to improve our communication and leadership skills, in order to achieve greater understanding throughout the world.

Vol.35

3

June 2017



カウンスルNo.2 会長 井上 明子



皆様のご協力のもと、充実したカウンスル活動が出来た1年でした。

共に：共に感動し 共に苦勞し 共に励まし合い 共に喜べる

素直な心：素直な心で耳を傾けると 新しい発見と可能性に導いてくれる

近道の方法：物事を正しく判断し 一歩ずつ進んでいくことが一番の近道

答えの導き方：行動を起こせば 次の行動のヒントが見えてくる

好きになること：好きという想いは 人の心を動かすチカラになる

私の好きな言葉です。まさにITCで学ぶものです。

1年間「悠々として前へ：Taking Time, Go Forward」有り難うございました。



クラブ推薦のプログラム

阪神クラブ

スーパーコンピューター「京」の見学と講演会

第一副会長 善塔貴美子

10月例会のスーパーコンピューター「京」の見学と、コンピューター開発に携われた井上愛一郎先生の講演です。9月例会で第4次産業革命が私たちの生活に如何に影響を及ぼすか、人間を越える存在と どう向き合えばいいのか。というようなことをみんなで話し合いをしたうえでの「京」の見学と講演でした。精密なコンピューターが並んでいるのに圧倒され、その計算速度の速さで求めるデータを瞬時に出し、それが多方面で人間の生活に役立っているというお話をお聞きし、又コンピューターの使い方の問題点など活発な質疑応答で盛り上がり有意義な例会でした。

◆知的を青とし感情的を赤とすれば最近赤が勝つ傾向がある。よって青と赤を混ぜた場合「赤紫」に落ち着いた。

神戸クラブ

45周年記念例会

会長 大谷差智子



創設して45年、記念例会の12月3日は 設立当初使っていた神戸外国倶楽部で開催しました。チャーターメンバーはバルク良子さんです。当時は外国人も含めて会員も多く国際色豊かなクラブで、ディナーを食べながらの例会でした。Mr.バルクによるクラブの思い出、元会員一人一人からコメントを頂き、メンバー全員でハンドベルの「アメイジング・グレイス」を熱演。ゲスト10名、会員8名の昔と同じ場所でのお祝いの会はとても印象的なものになっています。

◆濃い紫のピンクがかった色。紫の気品がありピンクの華やかさを取り入れた色がクラブのイメージに合っている。

イースト神戸クラブ

テーブルトピックス

会長 河合 康子

会員の一人が、堺市のトーストマスターズを見学に行き覚えて来たプログラムですが…

指名された人が、事前にPLが準備した課題を見て、即興で1～2分でスピーチし、指名された評価者が即興で評価をする。4～5人のスピーチと評価のあと、全員で最優秀スピーカーを決める。短時間で課題に沿った短いスピーチをまとめて発表し、評価することで、作文力を養い評価力を養う。最後に優秀者に表彰状を渡す。誰にどんなお題が当たるのか、はらはらして緊張感があり、スピーチをする人の人数で、プログラムの時間調整も出来てとても有意義だった。

◆例会場が9月から便利な大阪梅田第3ビルに変更。心機一転更に充実した活動を続けたい願いから新緑の緑にした。

甲南クラブ

6つの考える帽子

第一副会長 播磨由美子

「6つの考える帽子」甲南クラブで初めて採り上げたワークショップです。効率的に話し合いや会議が進む、問題解決の方法としてエドワード・デ・ボノ氏によって開発されたツールです。白、黄、黒、緑、赤、青の6色の帽子を被り替えることで、色で表す6種類の思考パターンを切りかえます。自分の考えとは違っていても1回に一つの帽子の色の思考になりきり、同じ視点に立って話し合います。テーマは「リージョン大会のあり方」。時を得て、ルールを守った3グループの話し合いは熱を帯び、大変盛り上がりました。

◆今期のクラブの色が緑、創立時六甲山の南で甲南と名付けた事にちなみ、新緑の爽やかで勢いのある緑に決定した。

PREM 会合報告

PREM 委員長 中村 記子



カウンスルNo.2 PREM会合は、平成29年4月21日（金）神戸市医師会館文化ホールで一般ゲスト20名、ITC会員35名の参加で開催いたしました。最初にPREM委員全員による「What' ITC」プレゼンテーションを行い、続いて講師：西田和生氏（環境カウンセラー）をお迎えし、テーマ「今 私たちの地球は！」～2030年へ向けて私たちができること～を講演して頂きました。私達の身近な大変難しい問題を、スライドを使って少しでも分かり易くと説明され、日常生活上の無駄な水や電気の使い方を考えさせられました。

◆：クラブをカラーで表すとどんな色になりますか？

六甲クラブ

評価コンテスト

会長 柚本加代子

このプログラムは、スピーカーがコンテストになるのではなく、評価者がコンテストになります。評価する際の技術や感覚を磨くように考案されています。スピーカー1名、評価コンテスト3名、審査員3名、タイマー2名、誘導係1名、プログラムリーダーで構成します。評価コンテストは、提供されたスピーチを聞いて評価のための準備にかかります。別室に移動し5分間で評価スピーチを作成。誘導係の指示に従い順に登壇して評価スピーチを発表します。その後3名の審査員が採点し順位を決めます。聞く力、考えをまとめる力、伝える力などが養われます。

◆六甲山を代表する花、紫陽花。クラブ花＝紫陽花一つ々の花が集まり大輪の花になろうとの思いが込められている。

宝塚クラブ

30周年記念例会

会長 西本 敬子



4月10日・11日に30周年記念例会を行いました。10日は宝塚歌劇場でミュージカル「スカーレット・ピンパンネル」を観劇、11日は宝塚ホテルにてゲストに元プロレス世界チャンピオン今シャンソン歌手のマッハ文朱様をお迎えして祝典の後シャンソン仲間と会員のスピーチ・朗読・ストーリーテリングのコラボで楽しいひとときを過ごしました。最後はマッハ文朱様の「どうにもとまらない」で会場総立ちで躍り出し全員で歌って興奮冷めやらぬなか閉会いたしました。

◆宝塚市花がすみれ宝塚歌劇がすみれ勿論宝塚クラブも出来た時からスマイレ色。今回は少し濃いめのスマイレ色です。

御影クラブ

フードバンク講演会

第一副会長 高島 季子



4月例会で「認定NPO法人フードバンク関西」のスタッフに来て頂いてその活動についての講演会を行いました。フードバンク関西は企業あるいは個人から、「商品としては扱えないが食べ物として全く問題のない余剰食品」を無償で引き取り、支援を必要とする人達を支える非営利福祉団体や施設に、ボランティアの手で運び無償で分配する事業をしています。パワーポイントを使って約70分間とても意義有る講演会でした。どこのクラブにもお薦めできるプログラムです。

◆橙色のイメージ通り、何事にも前向きに挑戦し喜びや親しみ温かさを共有する仲間達でNo.2のビタミン的存在である。

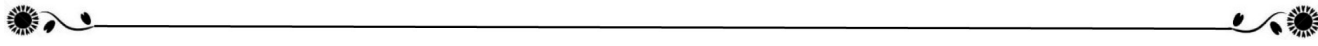
三田クラブ

クリスマスミニコンサート“チェロを楽しむ”

会長 中道 幸子

街中では、クリスマスソングが聞こえる頃、12月例会は一足早いミニクリスマス会を企画いたしました。会員全員が会場設営など様々なアイデアを出し合い素敵な例会になりました。チェロ奏者の伊藤岳雄様の十数曲の演奏は、聴く人の全てを惹きつけ、会場の中はチェロの音色で包まれてとても優雅なひとときを過ごすことが出来ました。生演奏の一曲一曲が胸の中に沁みこむ感覚を覚えたのは私だけではなかったでしょう。沢山のお客様やゲストの皆様にお越しいただき、とても有意義な例会になりました。

◆クラブの花がコスモスである事から ♪うす紅の秋桜が秋の日の…♪ のとおり、薄いピンクに決定いたしました。



カウンスルNo.2 第36期 スピーチコンテスト

2017年3月28日(火)
神戸ポートピアホテルレインボーの間



優勝おめでとうございます!



日本語の部
棟田 佳緒理
 論題：多様性
 題目：ちょっと一息

 2位：武本夕香子
 3位：柚本加代子

英語の部
横田 佳世子
 論題：Curiosity
 題目：Mask Dependence



審査員からひとこと

英語の部：林 真理子様 (神戸女学院中学部・高等学部部長)

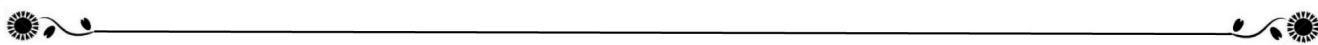


先日はお招き有り難うございました。日本語でも英語でも、出場者の皆様は日常生活の何気ない一コマを鋭い感性で取り上げ、ユニークな視点から掘り下げられました。ご自身の経験を通して人生かく生きるべしとの深い洞察を示してくださった方も多く、大いに元気を頂きました。明確で正確な発音だけでなく、間の取り方や緩急、顔の表情等で内容の聴衆への伝わり方が違って来る事もご存じの皆様は、ユーモアやキャッチフレーズ等を効果的に用いられましたので、内容が聴衆の心にスッと響きました。「これぞ会場全員の共感脳を駆使したコラボ作品!」と感銘を受けました。

日本語の部：吉田 茂彦様 (元NHKアナウンサー、元親和女子大講師)



一人一人が個性を生かし、時宜を得た説得力あるスピーチでした。内容もことばも練られていて魅了されました。辛口の感想を少し書かせていただきますと、論理を緻密にしようとして強調点やや不鮮明になったのではないかと。与えられた時間内にことばを少し盛り込み過ぎはしなかったか? 聴き手の反応に敏感に答える余裕も欲しかったと思いました。目線と「間」をさらに工夫し活用するとスピーチは魅力を増します。私がお話しすると皆さんは一斉にメモをとられました。何と初々しく真面目な方々なのでしょう。皆さんがさらにすばらしい成長をされることを確信しました。



カウンスルNo.2 第36期 第2回会合決算書

2017年3月29日
(単位：円)

収入の部			支出の部		
科目	金額	備考	科目	金額	備考
前期繰越金	44,790				4,420 (ITCプラン)×74名=327,080
登録費	348,000	全日 4,800×70=336,000 半日 1,500×8=12,000	ホテル支払	331,292	マイク(100-74)×150=3,900 消費税 3,900×0.08=312
スピーチコンテスト 委員会より	26,520	弁当 4,420×6=26,520	茶菓子	20,079	生和菓子・チョコレート・飴など
			飾りつけ	3,300	レクターン用お花
			雑費	1,766	名札用紙・宅急便送料
			次回繰り越し	62,873	
合計	419,310		合計	419,310	

会合コーディネーター 杉谷和代



クラブの色アンケートにご協力頂きまして有り難うございました。各会長からのコメントも大変興味深い結果となりました。8片の花びらが少しずつ繋がって、カウンスルNo.2の花が表紙に咲きました。大輪の花にならなくてもいつまでも咲いて欲しいと願いを込めて。ご投稿頂きました皆様から御礼申し上げます。スタッフのサポートにも感謝です。

編集者：浅井淑子 (甲南) スタッフ：橋口京子 (阪神) ・棟田佳緒理 (甲南)